

[話題提供] 西湖クニマス産卵場で確認されたワカサギの産卵

[要約] 西湖のクニマス産卵場で 2023 年 3 月 23 日から 4 月 30 日にかけてワカサギの産卵が確認され、ピークは 4 月上旬から中旬にかけてである。

[担当] 山梨県水産技術センター・忍野支所・芦澤晃彦

[分類] 研究・参考

[課題の要請元] 西湖漁業協同組合

[背景・ねらい]

西湖のクニマス産卵場にはリアルタイムに産卵場を観察できる水中ビデオカメラシステムが設置されている。クニマスの産卵状況をモニタリングする中で、ワカサギの産卵が確認された。ワカサギ資源管理の基礎資料とするため、クニマス産卵場におけるワカサギの産卵状況を水中ビデオカメラシステムの録画データからまとめる。

[成果の内容・特徴]

1. 2023 年 3 月 20 日から 5 月 5 日までのクニマス産卵場録画データを用いてワカサギの産卵状況を観察した。映像が観察しやすい 10 時から 11 時の録画データを用い、4 倍速で再生した。湖底にワカサギが密集する行動を「産卵行動」とし（図 1）、回数をカウントするとともに 1 画面中の最多ワカサギ数を記録した。
2. ワカサギの産卵行動は 3 月 23 日から確認され、4 月 30 日まで続いた。ピークは 4 月上旬から中旬にかけてである（図 2）。
3. 最多ワカサギ数の増減とともに産卵行動数も増減する（図 2）。
4. ピーク時に一時的に最多ワカサギ数及び産卵行動数の減少がみられたが要因は不明である。

[成果の活用上の留意点]

特になし。

[期待される効果]

ワカサギ資源管理の基礎資料となる。

[具体的データ]



図1 ワカサギの産卵行動

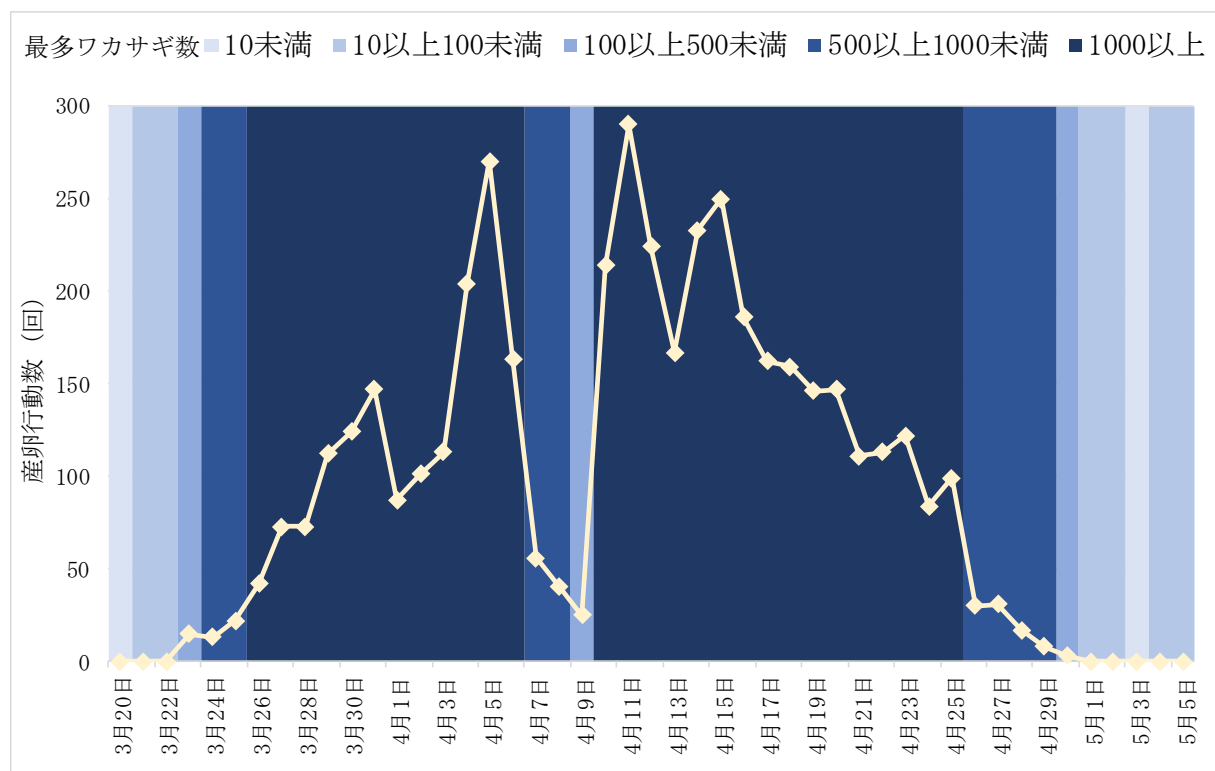


図2 ワカサギの産卵行動数と最多ワカサギ数

[その他]

研究課題名：クニマスの保全と養殖に関する研究

予算区分：県単

研究期間：2022 年度～

研究担当者：芦澤晃彦